

## 君津健康福祉センター運営協議会の開催結果について

- 1 開催日時 令和7年11月7日（金） 午後2時から午後3時20分まで
- 2 開催場所 木更津市新田3-4-34  
君津健康福祉センター 3階 大会議室
- 3 出席者等
  - (1) 委員 15名（欠席8名）

渡辺芳邦委員、高橋恭市委員、粕谷智浩委員、神由紀彦委員  
馬竹富美代委員、江野澤吉克委員、高橋浩委員、渡辺務委員  
佐々木晴代委員、林和子委員、大野泰代委員、出口文子委員  
廣中俊郎委員、野村典子委員、高坂尚宏委員
  - (2) 君津健康福祉センター事務局職員 11名

センター長 金井要、副センター長 峯島喜明  
副センター長 小林文孝、副センター長 佐野恵美子  
地域保健課長 加藤木好美、地域福祉課長 小野隆司  
疾病対策課長 山本智美、生活衛生課長 清水佑也  
検査課長 大谷理砂、食品機動監視課長 橋本亮  
監査指導課長 高橋昌士
  - (3) 傍聴者 0名

### 4 役員選出

以下のとおり選出されました。

会長 渡辺芳邦委員（木更津市長）  
副会長 神由紀彦委員（君津木更津歯科医師会長）  
副会長 野村典子委員（管内栄養士協議会長）

### 5 議事

#### (1) 君津健康福祉センター主要事業等について

君津健康福祉センター副センター長3名が、各課の主要事業等について別添資料及び令和6年度事業年報を用いて説明した。

峯島副センター長

全体に関すること、総務企画課及び監査指導課の主要事業について

佐野副センター長

地域保健課及び地域福祉課の主要事業について

小林副センター長

疾病対策課、生活衛生課、食品機動監視課、検査課の主要事業について

(事前に提出された意見について)

粕谷委員（袖ヶ浦市長）から提出された意見に対して、資料 君津健康福祉センターに対する意見及び質問に対する回答等について を用いて峯島副センター長が説明し、了解された

(質疑応答)

県議会議員 渡辺委員 (困難な問題を抱える女性・DV被害者支援事業について)

困難な問題を抱える女性に関する相談はなかったということだが、他の地域ではどのくらいあったかは把握されているか。

地域福祉課長 小野

他地域の状況は把握していないが、昨年度に管内4市と県女性サポートセンターとで担当者会議を行った際に、当センターでは困難な問題を抱える女性の相談はないが市ではどうかと投げかけたところ、新法ができたことによるそういった相談はまだないと聞いた。

県議会議員 渡辺委員

困難な問題を抱える女性はDVだけではなくて、借金や売春などいろいろな問題があるが、新法の中では支援センター、相談窓口を作ることになっている。どのくらい問題を抱える人たちに周知されているのか。対策があれば教えていただきたい。

地域福祉課長 小野

県の児童家庭課がホームページや県民だより等の広報媒体で周知している。

その他に千葉県の SNS の相談窓口、LINE でむすびめ@千葉女性相談を実施している。国も女性支援センターで短縮ダイヤル# 8778「話そう悩み」をやっている。千葉県ではそこにかけられた電話は、女性サポートセンターにつながるようになっている。市の広報も活用させてもらっている。

県議会議員 渡辺委員

表に出てこない問題は根が深い。少しでも課題をあぶりだしして、取り組みを引き続きやっていただくよう要望します。

富津市長 高橋委員 (生活習慣病予防について)

2点伺いたい。

地域保健課の地域職域連携推進事業の説明の中で、成人病予防、運動マップとあった。本市は市民一人ひとりの塩分摂取量が高い現状があり、「減塩野菜たっぷり」という取り組みをやっている。その中で運動マップは、どういうもので、本市の中で使えるものであれば御用意いただけるか。

地域保健課長 加藤木

運動マップは管内4市の運動施設を地図上に表示し、施設の説明を加えたものです。当センターのホームページに掲載しているので御活用ください。

富津市長 高橋委員 (インフルエンザ対策について)

もう1点はインフルエンザに関する事。今年も流行が始まっているとも考えられるが、経鼻のワクチンもあると聞いた。

もうインフルエンザは流行しているのか、経鼻のワクチンの接種の体制について伺いたい。

疾病対策課長 山本

本県においては10月29日にインフルエンザ注意報が発令された。1999年以降で3番目に早い発令。医療機関で定点観測している感染症

発生動向調査では10月後半からの週報の報告数が急増していた。16保健所中15保健所で増加しており、県全体で増加している。

手洗いの励行や咳エチケット等についてお願いしている。

センター長 金井

富津市の高橋委員からの質問について、前半の減塩については、富津市意識が高く、市内スーパーと連携して、野菜たっぷり弁当を販売し減塩対策に取り組まれていることは存じている。

インフルエンザのワクチンに関してはWHOが毎年A型、B型それぞれ2価ずつ選んでおり、現在日本ではWHOに従い、この4価ワクチンが使用されております。経鼻ワクチンについては、詳しくは存じておりませんが、同様の効果があると思われます。

下線の部分について、説明が不足しておりましたので、補足いたします。  
「令和7年度のインフルエンザワクチンは3価とすることになった。

A型株

- A／ビクトリア／4897／2022 (IVR-238) (H1N1)
- A／パース／722／2024 (IVR-262) (H3N2)

B型株

- B／オーストリア／1359417／2021 (BVR-26)  
(ビクトリア系統)」

袖ヶ浦市長 粕谷委員 (自殺対策について)

君津地域の事業年報の死因の統計等を見ると、自殺が死因のトップテンに入っているところがいくつか見られる。どう受け止められているか伺いたい。

地域保健課長 加藤木

健康や心に関する相談は、保健師や精神保健福祉相談員が隨時伺っている。また、医療的な内容などは、精神科医師による定例相談を予約制で行っている。

地域福祉課長 小野

地域福祉課ではDV対策の相談や障害者差別に関する相談を受けています

が、自殺に関してどこまで盛り込まれているか、というと、自殺というよりはむしろ生きることを希望されての相談を行っている。

センター長 金井

自殺の原因になる状況、DVや精神障害等について保健所で相談業務を行っている。医療が必要な方は受診するように支援をする。自殺原因の全体像をつかむのは国の仕事にもなる。

袖ヶ浦市長 粕谷委員

自殺のバックボーンが見えない。どういう背景があつてそのような選択をなさってしまったのかということが我々も把握できないところがある。ぜひ相談体制も含めて、自殺の割合が高くなっていることが見えてしまっているので、ぜひ引き続きお願ひしたい。

センター長 金井

保健所だけでなく、全国的な課題でもあるので連携をお願いしたい。

(2) その他

なし